

松葉づえ



年 組 ()

「今度のあそびの時間は、多数決で決めます。」

そういうきまりで、学級会が行われた。ツトムは学級委員として、よりよいあそびを決めようと意気こんでいた。

「ドッジボールがいい！」

「いやいや、おにごっこだろう。」

「教室でカルタは、どうかな。」

たくさんの意見が出ていた。挙手をして、結果が決まった。

「では、多数決の結果、おにごっこに決まりました。」

ツトムが言うと、「ちょっと待って。」と声があがった。気の強いサチだ。

「どうしましたか？」

「多数決で決まったけど、クラスにはヨウタくんもいます。

ヨウタくんにもできることを決めるべきではないですか。」

ヨウタは下を向いている。ヨウタは、最近サッカーの練習で足を痛めてしまって、松葉づえを使っている。だから、外での運動はできない。ヨウタは、小さな声で言った。

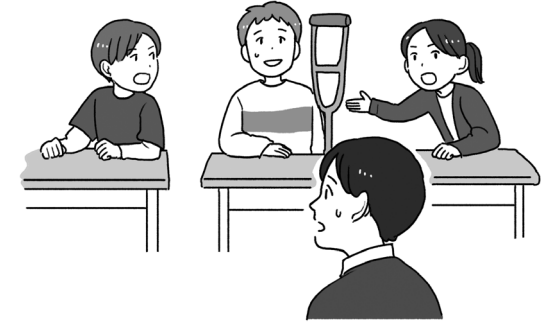
「ぼくは——。ぼくは、いいんだよ。みんなが楽しんでいるのを、見ているよ。」

ほかの子どもからは、不満の声があがった。

「ほら、ヨウタも言っているし。それに第一、多数決で決めるんだから、仕方がないじゃないか。」

「そうだそうだ。学級委員のツトムは、どう思うんだよ。」

ツトムは、ヨウタの顔を見ながら、どうするべきかを考えた。



ツトムは、おにごっこに決定するべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....
.....

話し合っ考えたことを書きましょう。

.....
.....